

授業科目名	情報科教育法2 (Information Science Teaching Method 2)		
科目番号	94210(産業技術学部) 84210(保健科学部)	授業形態	講義
単位数	2単位	履修年次	2・3年次
教員の免許状取得のための必修・選択	必修	受講対象	産業技術学部 保健科学部
担当教員(研究室)	工藤 雄司 (非常勤講師)		
実務経験のある教員による授業科目	高等学校で20年以上の教諭経験がある教員が、その経験を活かして、工業科、情報科の教材研究や授業づくりなどの授業を行う。		
免許法施行規則に定める科目区分等	教科及び教科の指導法に関する科目(高等学校 情報)		
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領における共通教科「情報」と専門教科「情報」の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。 ・学習指導要領をもとに各々の学習内容の指導法と、学習評価について理解している。 ・具体的な授業を想定した授業設計に必要な教材研究の方法を知り、学習指導案が作成できる。 ・教育実習のあり方を知り、作成した学習指導案をもとに模擬授業を行うことによって、教員として必要な力を身に付ける。 		
授業概要	学習指導要領に示された共通教科「情報」と専門教科「情報」の目標や内容を理解するとともに、様々な指導法を検討する。授業を想定した授業設計に必要な教材研究の方法や学習指導案の作成、学習評価について学ぶ。作成した学習指導案をもとに模擬授業を行うことによって教員として必要な力を身に付ける。		
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修 授業前に、事前配布資料・参考書に目を通しておくこと (2H) 事後学修 授業後に、学修内容をノートに丁寧にまとめること (2H)		
授業計画	第1回:学校教育における教科「情報」の位置付け・目標について 主に科目「情報の科学」、「情報Ⅰ」を取り上げる 第2回:学習指導要領における共通教科「情報」の科目構成と内容について 第3回:学習指導要領における専門教科「情報」の科目構成について 第4回:学習指導要領における専門教科「情報」の内容の展開について 第5回:諸外国における情報教育・プログラミング教育について 第6回:情報教育における教育メディアの効果的な活用について 第7回:情報教育におけるICTの効果的な活用について 第8回:学校教育における情報セキュリティの実際について 第9回:科目「情報の科学」、「情報Ⅰ」の年間指導計画の作成と学習評価について 第10回:科目「情報の科学」、「情報Ⅰ」の学習指導案の作成について 第11回:科目「情報Ⅱ」、「情報システムのプログラミング」などの年間指導計画の作成と学習評価について 第12回:科目「情報Ⅱ」、「情報システムのプログラミング」などの学習指導案の作成について 第13回:教育実習の目標と教育実習生の勤務について 第14回:模擬授業の実施・評価		

	第15回:模擬授業の実施・評価とまとめ 期末試験
テキスト	本村・角・山本・本郷・森山・中村・工藤「改訂 情報科教育法」学術図書出版 2010
参考書・参考資料 等	高等学校学習指導要領 高等学校学習指導要領解説 情報編
成績評価方法	レポート・課題・指導案等:30%、試験:70%で評価する。
成績評価基準	A+:到達目標を達成し、特に優秀な成績を修めている A:到達目標を達成し、優秀な成績を修めている B:到達目標を達成し、良好な成績を修めている C:到達目標を最低限達成している。 D:到達目標に達していない

授業科目名	情報科教育法2 (Information Science Teaching Method 2)		
科目番号	84220(保健科学部)	授業形態	講義
単位数	2単位	履修年次	3年次
教員の免許状取得のための必修・選択	必修	受講対象	保健科学部
担当教員(研究室)	金堀 利洋		
実務経験のある教員による授業科目	ドイツ Essen 大学でのシステム開発業務・科学技術文書処理システム開発業務		
免許法施行規則に定める科目区分等	教科及び教科の指導法に関する科目(高等学校 情報)		
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・情報全般に関して理解できる。 ・情報科の学習指導方法や学習評価について理解できる。 ・教科「情報」の科目「情報I」「情報II」を理解し、年間指導計画が編成できる。 ・専門教科「情報」の科目「アルゴリズムとプログラム」などを理解し、年間指導計画が編成できる。 ・各々の単元の内容を理解し、学習指導案が作成できる。 ・学習指導案をもとに、模擬授業ができる。 		
授業概要	教科「情報」と専門教科「情報」の各科目に応じた学習指導方法や学習評価について理解を深める。学習指導要領に示された共通教科「情報」と専門教科「情報」の目標や内容を理解するとともに、実際に学習指導案を作成し、それをもとに模擬授業を行うことによって教員として必要な力量を身につける。		
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修 授業前に、授業資料に目を通し、用語・概念の確認をする (1H) 事後学修 授業後に、課題に取り組み、提出 (3H)		
授業計画	第1回:学習指導と学習評価 第2回:学習評価のデザイン 第3回:学習と評価の計画 第4回:授業の事例と学習指導 第5回:授業の事例と学習指導 第6回:アルゴリズムとプログラミング 第7回:データの活用 第8回:情報教育の環境 第9回:教育の情報化の支援と教員養成 第10～15回:作成した学習指導案による模擬授業の実施と相互評価		
テキスト	(編著)鹿野・高橋・西野 (著)鷹岡・西端・森本ら「情報科教育法」実教出版 2022		
参考書・参考資料等	高等学校学習指導要領 高等学校学習指導要領解説 情報編		
成績評価方法	レポート・課題・指導案等:30%、試験(模擬授業):70%で評価する。		
成績評価基準	A+:到達目標を達成し、特に優秀な成績を修めている A:到達目標を達成し、優秀な成績を修めている B:到達目標を達成し、良好な成績を修めている		

	C:到達目標を最低限達成している。
--	-------------------

	D:到達目標に達していない
--	---------------